

20121011

骨格

- 骨の機能 function
 - 体の支持
 - 運動の単位
 - 臓器の保護
 - 臓器は複数の機能を持つ
 - 造血作用
 - 無機質の代謝

- 長骨
 - 上腕骨、大腿骨
 - 球体がある(下腿と混同しない)
- 短骨
 - 非常に小さな骨
- 扁平骨
 - 肩甲骨
- 頭蓋骨と不規則骨
 - 顔面頭蓋のほうが不規則骨
 - 不規則骨には他にも頸椎などがある

- 骨端部と骨幹部を見る
 - 骨端部は若い時によく成長する
 - 骨が長くなる
 - 骨端腺があり、身長が伸びる。
 - 骨端腺閉鎖で、骨幹部成長に移る
 - ホルモンセンセーティブの問題
 - 女性など閉経後に骨の無機質がなくなり骨粗鬆症になりやすい
- 結節、粗面、転子、棘、突起、稜を見る
 - 粗面
 - 筋肉がついていた証拠
 - 窩
 - 神経が通っていた
 - 神経は骨を押しつけて成長しない証拠

- 全身骨格
 - 胸郭
 - 肺と心臓を守る
 - 腹部にある実質臓器(中身が入ったもの)を守る
 - ⇔管腔臓器(=消化器等)
 - 骨盤
 - 生殖器系を守る
- 体の中で一番守られている場所
 - 隙間なく守られているのは神経系
- 上腕で動脈が走っているのは？
 - 解剖学的正位からみて内側
 - 外からの攻撃に対処する形
 - 筋肉も保護作用があり、屈筋と伸筋の間
- 種子骨
 - 膝蓋骨など

- 頭蓋骨

- 神経が出てくる穴しか開いていない

- 神経系は圧に弱いという特徴がある

- 神経線維が露出していて、そこをつねるだけでアウト

- Ex)ハネムーンシンドローム

- » 腕枕による長時間の低圧迫で神経がダメージ

- 手足に行くような末梢の神経は再生する可能性があるが、神経細胞の細胞体の部分で神経細胞自体が二度と再生しない(臨床上では今のところ)

- 神経細胞が集まっているのは中枢神経系、つまり脳と脊髄→頭蓋骨と脊椎で守る必要がある

- 脳頭蓋と顔面頭蓋に分けられる

- 頭蓋骨は、22個(舌骨をいれると23個)組み合わせ

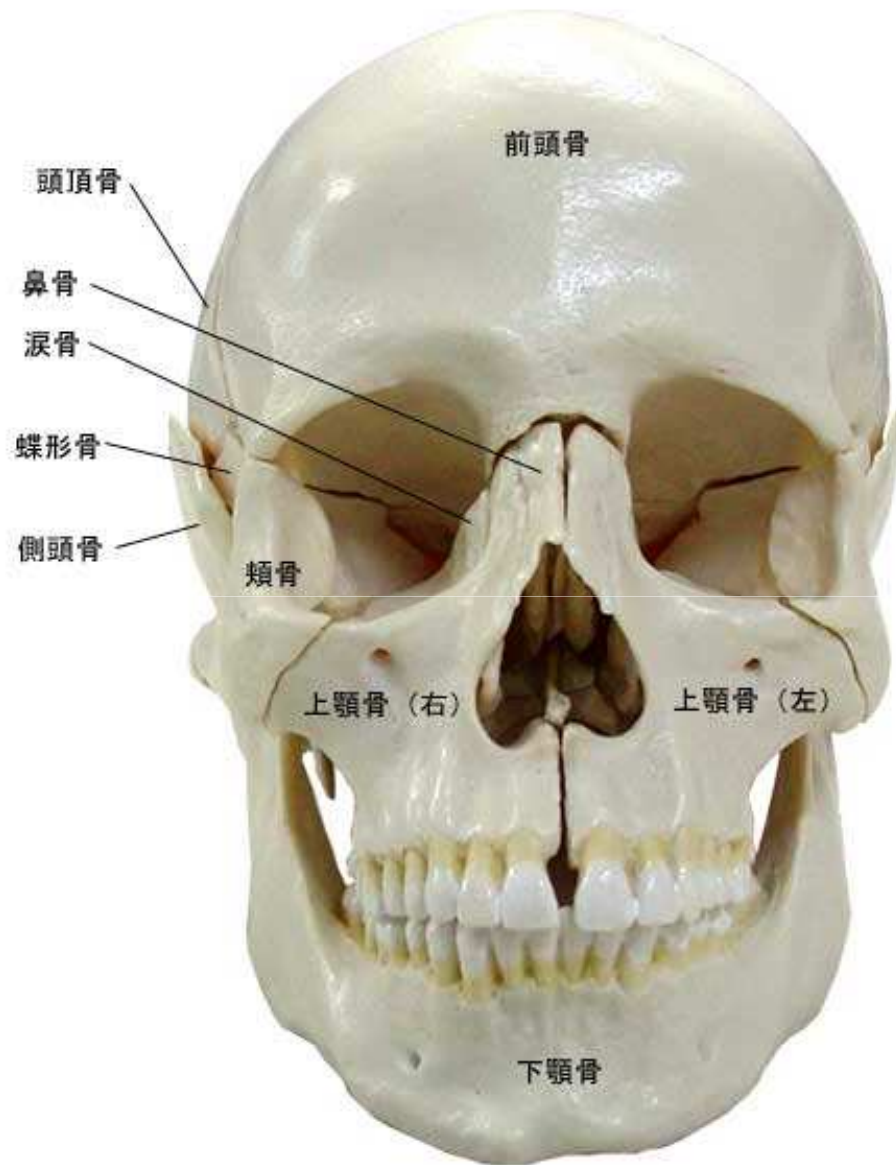
- 脳頭蓋(8個)

- » 前頭骨、頭頂骨(左右)、側頭骨(左右)、後頭骨、蝶形骨、篩骨

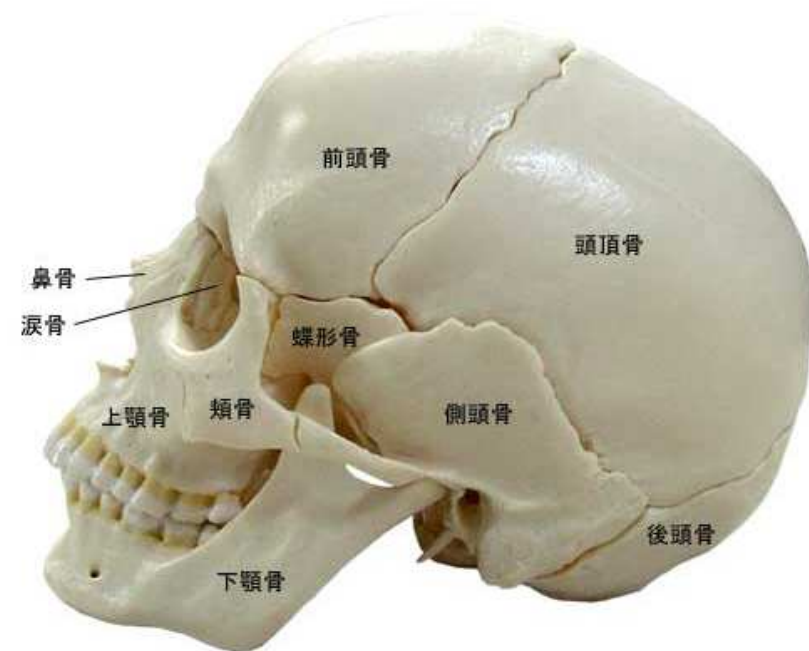
- 顔面頭蓋(14個)

- » 下顎骨、上顎骨(左右)、口蓋骨(左右)、頬骨(左右)、鼻骨(左右)、涙骨(左右)、鋤骨、下鼻甲介(左右)

頭蓋骨（前面）



頭蓋骨（側面）



- 頸椎

- 環椎

- atlas

- 地球を下から支える大男のこと
 - つまり、頭蓋骨を下から支える

- 軸椎

- Axis

- 日本で火葬後の収骨の際に「のど仏」とされるのは、軸椎

- 椎孔の中を脊髄が通っている
 - 極突起に筋肉がついている

- 凹凸孔がある(穴があれば頸椎)

- 胸郭

- 四足動物は胸骨が前後に長く横にせまい
 - 人間と逆
- 肺には筋肉がない。胸郭の動きがなければ呼吸はできない。

- 骨盤

- 腸骨、坐骨、恥骨が結合して寛骨になる
 - 17歳まで軟骨結合（かっちりくっついていない）
- 仙骨と寛骨1対で骨盤を構成
- 男女で形の違い
 - 女性は産道になるので横に広い

- 四肢
 - 上肢
 - 上肢帯
 - 鎖骨
 - 肩甲骨
 - 自由上肢
 - 上腕骨、橈骨、尺骨、手
 - 下肢
 - 下肢帯
 - 寛骨
 - 自由下肢
 - 大腿骨、脛骨、腓骨
 - 上肢と下肢で比べると、下肢のほうが運動制限が多い→可動性が異なる
 - 半月や円板で平らな骨同士をフィットさせる